

研修名	精神保健福祉実務者研修 I 「性同一性障害（性別違和）を正しく理解する」	
講師	福岡大学医学部精神医学教室 助教 黒岩 健輔 氏	
開催日時	平成 28 年 10 月 21 日（金）18：30～20：30	
開催場所	北九州市総合保健福祉センター（アシスト 21） 2 階講堂	
参加者数	57 名 （内訳：臨床心理士、相談員、保健師、養護教諭、教諭、精神保健福祉士、医師、看護師、サービス管理責任者、生活支援員など）	
研修の内容等	<p>精神保健福祉業務に携わっている方を対象に、支援に必要な最新の知識・技術・視点等について学び、相談支援技術の向上を図ることを目的に開催した。</p> <p>講義形式で、性同一性障害（GID）の位置づけ、診断、治療のガイドライン、児童・思春期症例への対応、教育現場の現状等について学んだ。</p>	
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> • 性別違和を感じている方は、私が思っていたより沢山いて驚きました。 • 診察や治療の流れなどを知ることができて良かった。 • 福大病院にジェンダークリニックがあることは、初めて知りました。今日はとても勉強になりました。さらに学びたいと思います。 • 幼少の頃より違和感を感じ、悩んでいる人が増加しているということ、GID の人が自殺まで考えることが多いと知って、この問題はとても大きいと感じました。具体的に患者の感じている困難を知ることができて良かったです。 • GID を認識し始めた年齢が、就学前が半数近くであることに驚きました。受診までに何年もの時間を、悩み続けてこられたことを思うと、早く気付けるのは周りの家族であり、周囲の大人なのだと思います。相談先が早く確立され、少しでも配慮される環境が築かれることを切に望みます。 • GID について、精神科医の取組がわかりやすかった。長期的なサポートをする人、場の確保など、大変そうだと感じた。生きやすくする環境を、社会としてどの程度整えることができるのか、どの程度、まわりが成熟できるかが、今後の課題だと思う。 など 	